

全国各地にてFCV*1が導入されており、多くの自治体が公用車や普及啓発に活用中

自治体が公用車として自ら購入し、需要を先導するアプローチについて、京都市ではFCVのレンタカーとして活用、愛知県では駅伝におけるFCV使用、福岡県は公用車として使用し、アピールしている。

都道府県別のFCVの導入状況

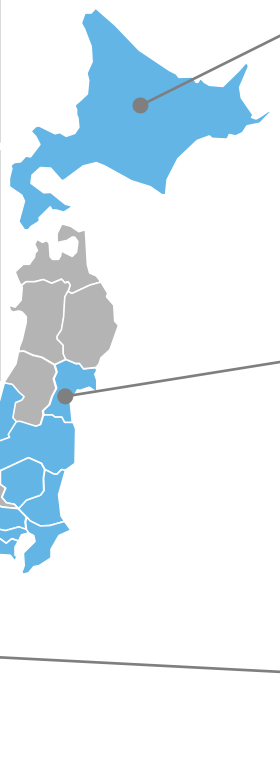
(参考)「MIRAI」の概要*2

- 製造事業者: トヨタ自動車(株)
- 定員: 4名
- 航続距離: 約650km
- 充填時間: 約3分
- 価格: 723.6万円



(参考)CLARITY FUEL CELLの概要*3

- 製造事業者: 本田技研工業(株)
- 定員: 5名
- 航続距離: 約750km
- 充填時間: 約3分
- 価格: 766.0万円



北海道:災害時に非常用電源としてFCVを活用

- 2018年9月に発生した北海道胆振東部地震でFCVを活用
札幌市役所本庁舎前にFCVを設置し、
約2000人の被災者の方々に携帯電話充電サービスを実施



宮城県:FCVのレンタルサービスを実施

- FCVカーレンタル導入実証事業として、個人への貸し出しサービスを実験的に実施
- 個人のニーズ(時期・時間・目的等)にあった有料貸出を実施

福岡県:番組で公用車を用いて水素をアピール

- 県政広報が作成する番組に公用車FCVを使用
- FCVに乗車したタレントが水素・燃料電池産業の重要性をアピール



*1 FCV = Fuel Cell Vehicle、燃料電池自動車、*2 出所:トヨタ自動車HP、*3 出所:本田技研工業HP